

2024年12月25日

横浜ゴム、プレミアム SUV 向けタイヤ「ADVAN V61」を発売

横浜ゴム（株）は、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」の新カテゴリー商品となるプレミアム SUV 向けタイヤ「ADVAN V61（アドバン・ブイ・ロクイチ）」を2025年3月より国内で順次発売します。人気が急増している中・大型プレミアム SUV をメインターゲットに、発売サイズは17～22インチの新車装着（OE）用を含めた17サイズを計画。なお、海外においても北米を除く全世界で順次販売を開始します。

今回発売する「ADVAN V61」は、カーメーカーに採用される優れた性能を発揮するプレミアム SUV 向けタイヤです。プレミアムカーに相応しい「ADVAN」ならではの走行性能に加えて、低燃費・低電費性能、操縦安定性、静粛性を高次元でバランスし、高重量な SUV での快適な市街ドライブとロングツーリングを実現します。

「ADVAN V61」は、LEXUS「RX」や MAZDA「CX-80」の国内カーメーカーのプレミアム SUV や、トヨタ「bZ4X」や SUBARU「SOLTERRA」などの国内カーメーカーの BEV および PHEV 向け新車装着用タイヤとして認定されており、既に納入を開始しています。今回この新車装着用「ADVAN V61」に加え市販向けサイズを拡大しフルラインアップ化します。

開発にあたっては、長年にわたって磨き上げてきた独自技術に加え、横浜ゴムの AI 利活用フレームワーク「HAI CoLab[※]（ハイコラボ）」の下で先進の AI 技術やシミュレーション技術を融合させ、求める性能レベルを実現する精度を飛躍的に高め、トレッドパターン、プロファイル、構造に至るまで最適解に基づく専用設計を施しています。また、コンパウンドには当社独自のゴム混合技術「A.R.T. Mixing」を活用した専用コンパウンドを採用しました。これらにより、背反する低燃費性能・グリップ性能・耐摩耗性能の高次元での両立と、優れた操縦安定性や快適性を追求しています。

※Humans and AI collaborate for digital innovation をもとにした造語



横浜ゴムは 2024 年度から 2026 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランジフォーメーション・ニーゼロニーロク) のタイヤ消費財戦略において高付加価値品比率の最大化を掲げ、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR (ジオランダー)」、「ウインタータイヤ」、そして 18 インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。また、各地域の市場動向に沿った開発・供給・販売体制などを強化する「商品・地域事業戦略」を推進しています。

発売サイズ

インチ	偏平率 (%)	タイヤサイズ	ラベリング		
			転がり抵抗	ウェットグリップ	低車外音
22	45	255/45R22 107V XL	AAA	b	○
21	50	235/50R21 101W	AA	a	○
20	45	255/45R20 105W XL	AAA	b	○
	50	235/50R20 104W XL	AAA	b	○
	55	235/55R20 102V	AA	a	○
19	55	225/55R19 99V	AA	a	○
		235/55R19 105V XL	AAA	b	○
		265/55R19 109V	AA	b	○
	60	235/60R19 103V	AA	c	○
18	55	225/55R18 98H	AA	b	○
		235/55R18 104V XL	AAA	b	○
		255/55R18 105V	AA	b	○
	60	225/60R18 100V	AA	a	○
		235/60R18 103H	AAA	b	○
		235/60R18 103V	AAA	b	○
		235/60R18 107V XL	AAA	b	○
17	60	225/60R17 99H	AA	b	○

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田

TEL : 0463-63-0414 FAX : 0463-63-0552

新たな設計テクノロジーを導入したトレッドパターン



① 4ストレートグルーブ+ナローグルーブ

4本の太いグルーブに加え、イン側に1本のナローグルーブを配置。ウェット走行時の排水性を高めるとともに、耐ハイドロブレーニング性能も発揮する。



② ライトニングエッジグルーブ

センターリブの両側とその他リブのイン側に施した稲妻型の切り込みが水膜を切るエッジ効果を発揮。溝面積を増加させつつリブ剛性を確保することでウェット性能、ハンドリング性能を両立。



③ トリプルセンターリブ

3本の高剛性リブが高速直進安定性を確保。



④ 高剛性パワーショルダー

ラグ溝を非貫通とすることで高いブロック剛性を実現。レーンチェンジ時のふらつき抑制、耐摩耗性能に貢献。



■ ドライ性能、ウェット性能を高いレベルで両立する非対称パターン



アウト側パターンデザイン



アウト側パターンは、ドライ性能を司る。高い剛性と広い接地面積を重視し、コーナリング時にしっかりと荷重を支え、高いグリップ力を導き出す。



イン側パターンデザイン



イン側のパターンは、ウェット性能を発揮する。最内にもナローグルーブを刻むなど、高い排水性を追求している。

AIを駆使したピッチ配列の最適化による静肃性向上

AIが計算した遺伝的アルゴリズムを適用し、ピッチ配列（ブロックの周方向の大きさをランダムにして配置すること）を高精度で最適化。ブロックエッジが路面を叩く音の周波数ピーカーを分散させることでパターンノイズを低減し、静肃性を高めている。

ノイズのピークを低減するため、ピッチ配列を改善

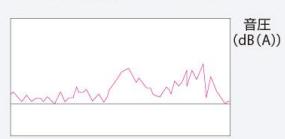
【初期設計段階】

音の周波数ピーカーが高い



【ピッチ配列を改善】

音の周波数ピーカーが分散



（イメージ図）

ADVANらしさを主張する、美しいサイドデザイン

独自技術で描き出した、陰影が印象的なサイドデザイン。



タイヤサイドのダークデザイン

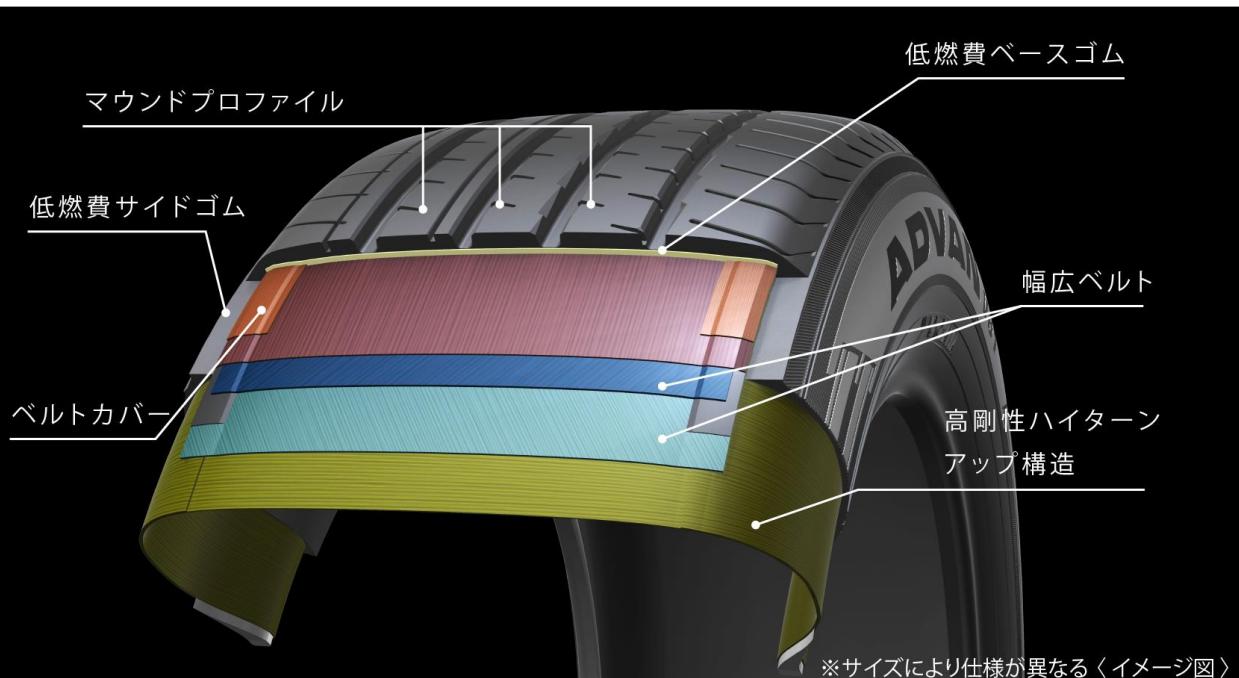
（イメージ図）

従来の刻印イメージ



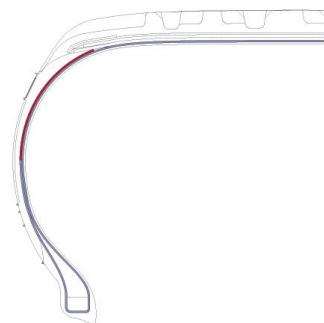
より深く精巧な刻印へ

高重量のSUVをしっかり支える専用構造



高剛性ハイターンアップ構造

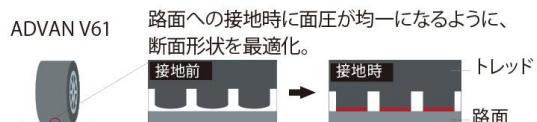
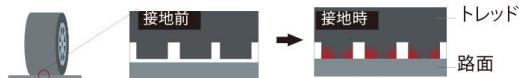
カーカスをショルダー部まで外側に高く巻き上げ、サイドを二重にした構造。高剛性とタイヤ全体の軽量化にも貢献する。



マウンドプロファイル

3本のセンターリブの断面はそれぞれ接地した時の面圧を最適化したアーチ型とし、均一な接地圧分布を実現した。

当社一般的な タイヤ 路面への接地時、リブの両エッジに力が偏り、面圧が不均衡に。



低燃費ベースゴム

トレッド下層のベースゴムは発熱を抑え、エネルギー損失が少ないゴムを使用し、低燃費性能を向上させている。

低燃費サイドゴム

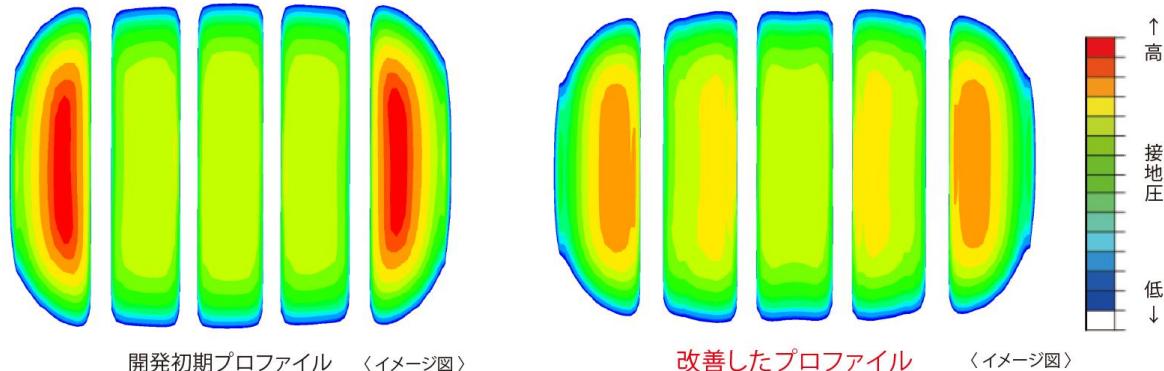
走行時つねに変形を繰り返すサイド部に、発熱を抑えるゴムを採用。低燃費性能に貢献する。

幅広ベルト

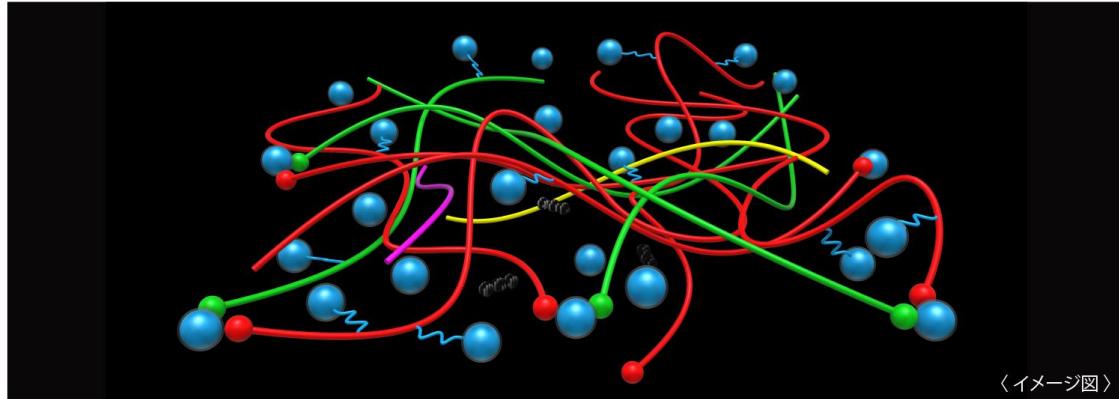
当社従来品で通常採用するものより幅の広いベルトを採用し、操縦安定性を高めている。

高荷重に対応し、ウェット性能と低燃費性能のバランスを追求した専用プロファイル

■接地形状・接地圧分布の比較



背反性能を高次元でバランスさせるコンパウンド



独自の混合技術「A.R.T. Mixing」

「A.R.T. Mixing」とは、独自に開発したゴムの混合技術。従来の混合技術と比較してシリカの分散性を大幅に向上させることができる。これにより、低燃費性能とウェット性能・耐摩耗性能を高いレベルで両立させている。

